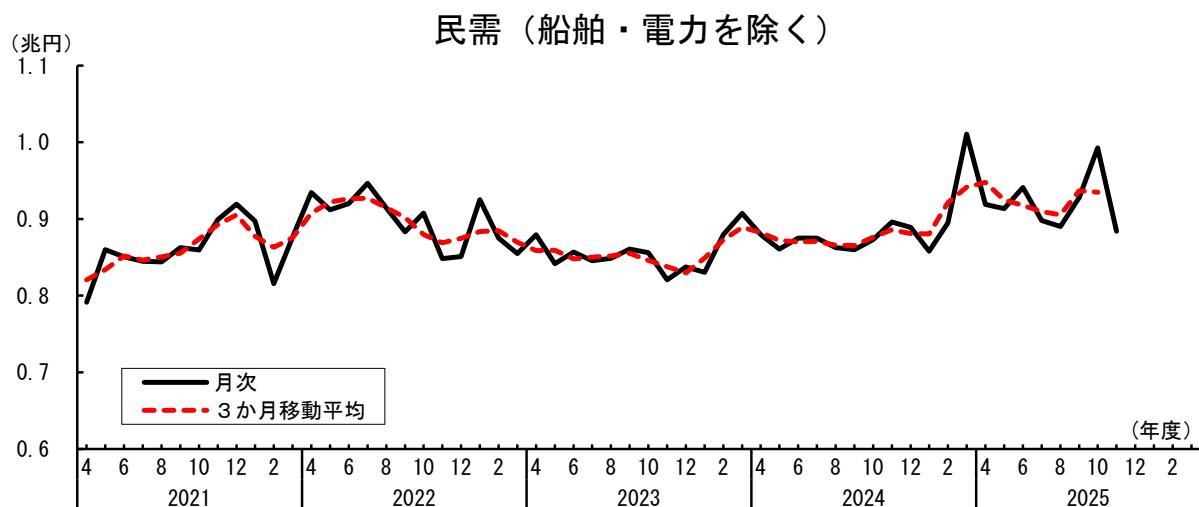


機械受注統計調査(令和7(2025)年11月実績)
結果の概要

—機械受注は、持ち直しの動きがみられる—
(基調判断据置き)

- 民間設備投資の先行指数である「船舶・電力を除く民需」は、11月は前月と比較して11.0%減少し、3か月ぶりの減少となった。
- ただし、3か月移動平均をみると、0.2%減と小幅な減少にとどまっており、基調判断は「持ち直しの動きがみられる」に据置きとした。



対前月(期)比

(単位: %)

期・月 需要者	2024年 (令和6年) 10-12月 実績	2025年 (令和7年) 1-3月 実績	4-6月 実績	7-9月 実績	10-12月 見通し	2025年 (令和7年) 8月 実績	9月 実績	10月 実績	11月 実績
受注総額	5.4	2.4	△5.3	3.4	△0.9	7.3	3.9	△6.8	8.5
民需 〃(船舶・電力を除く)	9.9 2.3	1.3 3.9	3.5 0.4	△2.6 △2.1	5.7 0.2	△10.7 △0.9	8.2 4.2	2.3 7.0	△7.2 △11.0
製造業 非製造業(除船・電)	9.0 △0.7	△0.9 5.7	1.5 0.9	3.4 △5.0	△0.8 0.5	△2.4 △6.4	23.3 △8.7	△13.3 28.8	△10.8 △10.7
官公需 外需 代理店	31.3 △5.3 △2.5	4.1 2.5 2.8	△31.2 △3.3 9.3	△11.7 16.6 △0.3	△7.0 △4.0 △3.3	△41.4 28.4 △11.5	7.3 9.7 △3.7	22.9 △21.8 11.4	67.8 5.3 △2.8
民需(船舶電力を除く) 3か月移動平均						△0.5	3.5	△0.2	-

(備考) 1. 季節調整値による。季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。

2. △印は減少を示す。

3. 見通しは2025年9月末時点の調査。